

[WINSTAR CAD Ver.9]からのバージョンアップ内容一覧

新設、強化のあったコマンド名のみを記載し、変更のなかったコマンドは省略しています。

[参考] 新設コマンド:58、 拡張、機能強化コマンド:29

【ファイル】メニュー

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

メニュー名	新設、機能拡張内容	区分
図面を開く	ZEN形式のファイルは拡大サイズのグラフィック表示ができます。	○
追加読み込み	ZEN形式では図面メモを含んで保存します。	○
図面の合成	旧形式のZMN・ZUM形式の読み込み保存もできます。	○
図面削除	DWG・DXF読込保存オプション機能を追加し、以下の機能を追加しました。	○
名前を付けて保存	ペン番号→色番号(ACI)指定。文字間隔の保持が可能。保存時英数文字のみの半角変換、対応可能な全文字の半角変換モードの選択が可能。	○
DWG・DXFファイルを開く	[設定]-[図面保存オプション]から以下の機能を移動し、DWG・DXF読込保存オプション機能としてファイル操作時に各コマンドで指定できるようにしました。	○
DWG・DXFファイルを現尺で開く	DWG,DXF保存時文字幅を82%に/DWG,DXF読込保存時WINSTARCADVer5の形式で/DWG,DXF読込保存時 1バイト文字を2バイト文字に変換しない	○
DWG・DXFファイルで保存	DWG・DXF形式の3D図面を三面図に展開して開くことができます。 DWG・DXF読込保存オプション機能も対応しています。	◎
DWG・DXFファイルを三面図で開く	DWG・DXF形式の3D図面を三面図に展開して開くことができます。 DWG・DXF読込保存オプション機能も対応しています。	◎
連続印刷	保存されている複数の図面を印刷します。	◎
連続プロッタ出力	保存されている複数の図面をプロッタに出力します。	◎
連続ファイル変換	保存されている複数の図面を他形式に一括変換します。	◎
標準図面の検索	保存されている図面中の文字列を検索対象として図面の検索を行いません。	◎
標準、旧図面の検索	保存されている図面のファイル名を検索対象として図面の検索を行いません。	◎
旧図面を標準図面に一括変換	旧形式の標準図面を、ZEN形式に一括変換します。	◎
ファイル拡張削除	[WINSTAR CAD]独自形式の不要になったファイルを検索し、削除します。	◎
シンボルの複写	シンボルファイルからシンボルファイルへシンボルを複写します。	◎
シンボルの削除	シンボルファイルから指定のシンボルを削除します。	◎
シンボルの名前変更	保存されているシンボルの名前を変更します。	◎
シンボルのソート	保存されているシンボルを名前順にソートします。	◎
DWG・DXFファイルで保存	文字間隔の保持が可能。保存時英数文字のみの半角変換、対応可能な全文字の半角変換モードの選択が可能。	○
EXCELファイルを開く	MS-ExcelのXLS形式、XLSX形式のファイルを開くことが可能になりました。 ※ファイル形式に対応するMS-Excelがインストールされていることが必要です。	◎
PDFファイルを開く	PDFファイルを開くことが可能になりました。	◎
PDFファイルで保存	PDFファイルに保存することが可能になりました。	◎
テキスト読み込み	テキスト読み込み時にエディタ画面で複数行の編集や文字サイズ設定が可能になりました。	○
JPG・BMP読み込み(倍率)	画像データを原寸で読み込むことが可能になりました。	○
印刷	特定のペンのみカラーで出力できるようになりました。 プリセット機能により印刷条件を保存しておくことが可能になりました。	○
ベクトル化ツール	JPG・BMPの画像ファイルからベクトルデータを抽出できるツールを持たせました。	◎

【編集】メニュー

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

メニュー名	新設、機能拡張内容	区分
グループ化	グループ化する対象要素を指定する際に、指定済みの要素を対象から除外できるようになりました。	○
グループ確認	すでにグループ化されている図形から要素を除外できるようになりました。	○
ホールド	指定された範囲部分をWINSTAR CADのホールド用クリップボードに蓄えます。	◎
ホールドグループ	指定したグループ要素をWINSTAR CADのホールド用クリップボードに蓄えます。	◎
ホールドセット	WINSTAR CADのホールド用クリップボードの内容を作図画面上に仮表示しながら貼り込みます。	◎
ホールド拡大縮小	WINSTAR CADのホールド用クリップボードの内容を作図画面上に仮表示しながら、縦横比を保持したまま拡大縮小した状態で貼り込みます。	◎
ホールド変形	WINSTAR CADのホールド用クリップボードの内容を作図画面上に仮表示しながら、指定の範囲枠内に縦横変倍の変形した状態で貼り込みます。	◎
マルチコピー	複写対象要素を複数回にわたって指定でき、仮表示をしながら複写します。	◎
マルチムーブ	複写対象要素を複数回にわたって指定でき、仮表示をしながら移動します。	◎

【表示】メニュー

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

メニュー名	新設、機能拡張内容		区分
ペン線種の選択	カレントペンを指定します。		○
基準座標点設定	基準座標系の原点を設定します。	マウスやキーボードからしか操作できなかった機能をメニュー化しました。	○
要素ペン線種取得	カレントペンを、カーソルにより指定された要素のペン番号、線種に変更します。		○
要素情報表示	カーソルで指定された要素の情報を表示します。		○
スナップ	スナップ機能をON/OFFできます。		○
画面情報	以下の項目が追加されています。 文字の履歴表示を使用しない		○
ツールバー	ツールバーを固定できるようになりました。 [作図]-[ペイント]で使用するパレット色を指定するアイコンを追加しました。 座標情報アイコンの表示サイズ変更、ツールバーのフロート表示、直前の定義状態への復帰機能		○

【作図】コマンド

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

階層1	階層2	新設、機能拡張内容	区分
曲線	方形雲形	対角四角枠の指定により、四角ベースの雲形を作図します。	◎
	円形雲形	中心と円周点の指定により、円ベースの雲形を作図します。	◎
	楕円形雲形	対角四角枠の指定により、楕円ベースの雲形を作図します。	◎
文字	複数行文字入力	エディタ画面で複数行の入力や編集ができます。	◎
	カウントアップ文字	カウントアップ文字の基点とオフセット値が指定できるようになりました。	○
	フォント変更	前回変更したフォント名を保持しておくことができるようになりました。	○
	ベクトル化	フォントが持っている状態より太く、あるいは細くした状態でベクトル化することが可能になりました。	○
	文字の再配置	入力済みの複数の文字列を1行に合成して、あらためて配置し直すことができます。	◎
	複数行文字編集	入力済みの複数の文字列をエディタ画面に取り込み、複数行の編集や1行の文字数調整などができます。	◎
	文字一括編集	図面中の全ての文字列を抽出し一覧表示します。	◎
ペイント	要素指定	指定された要素による閉ループ内の塗りつぶしをします。	◎
	閉鎖領域指定	指定された閉鎖領域内の塗りつぶしをします。	◎
補助線	中心と半径	中心と半径指定による円の補助線をセットします。	◎
	中心と円周点	中心と円周点指定による円の補助線をセットします。	◎

【寸法】コマンド

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

階層1	階層2	新設、機能拡張内容	区分
寸法線	2点の指定寸法線	指定された2点間に寸法線をセットし、内矢外矢、寸法値の位置が指定できます。	◎
	2要素間隔寸法線	平行線、または同心円の間隔寸法線を作図します。	◎
寸法値	寸法値横方向移動	寸法値の方向角に平行に位置を移動します。公差もセットで移動できます。	◎
	寸法値移動	寸法値を自由な位置に移動します。公差もセットで移動できます。	◎

【加工】コマンド

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

階層1	階層2	新設、機能拡張内容	区分
交点間削除	_____	連続している線分や単一の線分の一点を指定するだけで、交点と交点の間だけを削除します。	◎
複写	複数指定複写	複写の対象要素を、複数回に分けて指定できます。	◎
移動	複数指定移動	移動の対象要素を、複数回に分けて指定できます。	◎
雲形に変更	_____	すでに作図されている、直線・枠・円・楕円を雲形図形に変更します。	◎
拡大詳細図	_____	詳細図用に拡大する対象を、円形に取り出します。	◎
画像	画像を奥に移動	画像やペイント図形を奥に移動し他の要素を重ねた状態に変更します。	◎
	画像を手前に移動	画像やペイント図形を手前に移動し他の要素の上に重ねた状態に変更します。	◎
図面間複写移動	図面間複写元指定	図面間複写したい対象を1回の範囲枠指定で指定します。	◎
	図面間複写元 複数指定	図面間複写したい対象を複数回の範囲枠指定で指定します。	◎
	図面間移動元指定	図面間移動したい対象を1回の範囲枠指定で指定します。	◎
	図面間移動元 複数指定	図面間移動したい対象を複数回の範囲枠指定で指定します。	◎

階層 1	階層 2	新設、機能拡張内容	区分
図面間複写移動	図面間データセット (実寸)	図面間複写・移動の各コマンドで指定された対象要素を、元の寸法のままセットします。	◎
	図面間データセット (縮尺)	図面間複写・移動の各コマンドで指定された対象要素を、元図と複写・移動先図面の縮尺値を計算し拡大縮小して見た目が同じになるようにセットします。	◎
	図面間データセット (用紙)	図面間複写・移動の各コマンドで指定された対象要素を、元図と複写・移動先図面の用紙サイズを計算し拡大縮小して見た目が同じになるようにセットします。	◎

【設定】メニュー

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

メニュー名	新設、機能拡張内容	区分
寸法線	寸法値、XY座標値、XY座標値に3桁区切りのカンマを追加することができます。	○
寸法値フォント	標準フォントの場合も、プロポーショナル状態での配置ができます。	○
文字フォント	標準フォントの場合も、プロポーショナル状態での配置ができます。	○
その他	以下の項目が追加されています。 雲形最小半径/雲形最大半径/雲形ペン番号/レイヤ管理画面の表示倍率	○
図面保存オプション	以下の項目が追加されています。 ZMN形式を主体に使用する 以下の機能を移動し、DWG・DXF 読込保存オプション機能としてファイル操作時に各コマンドで指定できるようにしました。 DWG,DXF保存時文字幅を82%に/DWG,DXF読込保存時WINSTARCADVer5の形式で/DWG,DXF読込保存時 1バイト文字を2バイト文字に変換しない	○
パレット管理	[作図]-[ペイント]機能で指定できる色の組み合わせを設定します。	◎
システム設定	設定の保存と取り込み、設定の初期化、関連付けファイルの設定、旧バージョンの設定の引き継ぎ	◎
文字の表示・入力時の設定	文字の画面表示や入力時の各種の設定をします。フォント表示の平準化、寸法値を半角文字でセット、「.」,「.」,「.」,「.」の字詰め、文字の簡略表示、IME自動起動のON/OFF	◎
ストロークフォントエディタ	標準ストロークフォント文字の修正や作成ができるユーティリティを起動します。	◎
標準ストロークフォントの差替	複数のストロークフォントの差し替え機能。	◎
[エーティ]フォントインストール	添付してあるユニコード対応の日本語・簡体字・繁体字・韓国語フォントをインストールします。	◎

【その他】

項目	機能内容
文字形式	ユニコード対応になりました。
図面保存形式	ZEN形式が標準形式となります。
DWG・DXFファイル	文字間隔を保持したまま保存できるようになりました。さらに、コンバートの精度を向上させました。
フォント	OpenTypeフォントへ対応しました。図面中の最大フォント数が50になりました。
【プリセット】機能の強化	あらかじめ設定値の組み合わせを用意できる、プリセット機能を強化しました。 プリセット機能が用意されているコマンドで5つのプリセットの登録とプリセット名を付けておくことができます。
文字入力の各ダイアログボックス	文字を入力する各ダイアログボックスで、以前に入力した文字内容を20個まで保持しておくことが可能になりました。 定型文を簡単に選択できる文字の履歴プリセット機能追加。よく使う文字を選択するだけで入力できます。
はめ合い公差	JISで規定されている、穴・軸のはめ合い公差の入力が簡単にできる選択方式に変更しました。 全公差域、全等級が選択可能です。 はめ合い公差が入力可能な寸法関係の全コマンドで使用可能です。
画面の見やすさ	状態表示のXY座標値アイコンに大きなサイズを用意しました。 また、文字入力のダイアログボックスで文字サイズを大きくし、見やすくなるようにしました。
より使い易く	アイコンやキーボードでしか操作できなかった機能をメニュー化することでより使い易くなるように色々な場面に見直しを行いました。マウスの右クリックメニューを充実しました。
画面描画	画面描画の手法を見直し、各所で応答の高速化を計りました。
ユーティリティ	すべての機能を[WINSTAR CAD]本体に内蔵したためユーティリティは廃版となりました。
標準ストロークフォントの縦書き対応	標準ストロークフォントを指定している場合でも、縦書きの長音記号やカッコ、促音などがバランスよく配置できるようになりました。
寸法数値の半角入力	寸法値の文字を半角でセットできるようになりました。
画面表示の高速化	編集メニューで図形を仮表示する際の表示スピードを高速化しました